

2012年度 第4回 常任幹事会議事録

●日時
2012年12月1日(土)
14:30~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 422号教室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
日野高〔副会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
西田一成〔常任〕
渡部征明〔常任〕
桜井裕美〔常任〕
大村政幸〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
永吉昭浩〔常任〕
大野美菜子〔常任〕
小山優子〔会員〕

●委任欠席者(カッコ内→代理人)
竹島 巍(秋元)
三好耕之
藤川正美
浜村圭一(西田)
勝山昌幸
富澤和治
山田直毅
軽込孝信
小高恭子

常任出席者 13名
委任欠席者 9名
(常任幹事22/25名 定足数成立)

●議事進行:松岡和彦

●議事録
書記:白木菜穂

校正・制作・文責:
秋元圭一・大村政幸

■議題

- 1 第11回アサビブリッジセミナーの報告
- 2 総会&パーティ2012の報告
- 3 掘商店のショーウィンドウについて
- 4 その他・意見交換

■はじめに

- ・会長挨拶…秋元会長は無事に総会が終了したことを報告し、お礼と労いの言葉を述べた。
- ・前回議事録の確認…事務局の大村氏は、2012年度第3回常任幹事会議事録について、会議案内へ含めた返信統計で、承認12名・不承認0名により承認されたこと、後日asabi-netへ掲載する事を報告した。

■議題1 第11回アサビブリッジセミナーの報告

★浜村委員長が欠席で、西田氏より報告があった。開催日時:10月28日(日) 15:00~17:00。会場:阿佐美422号教室。講師:寺田克也氏。司会:松岡和彦氏。担当委員:浜村氏・渡部氏・西田氏。協力:秋元会長・三好氏・日野氏・桜井氏・大村氏・白石氏・小山優子さん。参加状況:同窓生27名(常任幹事除く)・在校生8名・教員4名・一般56名・合計95名・講師、司会、担当委員3名、協力7名で11名・合計106名

西田氏は「昨年とその前も含め、在校生の参加が少なかった。ネットからの申込者に番号をつけているが、入場時は先着順でお願いした。学校見学の高校生向けに20名分ほど確保し、入場にあたり整理券を用意したがうまく活用できなかった。以前常任幹事会の中で、どんな方が参加されたか知りたいということでカウントしたが、決まった時間の中で整理したこともあり、リストの一般外来者の中で情報が欠けている方が23名分あった。完全なリストが必要であれば、もう少し工夫して、できるだけ記録に残るような形を考えなければと思う。皆さんのご協力をいただいて盛況でした。ありがとうございます」と述べ、リストに関しては「フェスタで出入りが自由なため、正確な数は把握できないと思うので、今回はやむを得ないと思う」という意見に落ち着いた。

松岡氏は「学校側の感想として、この3年間100人超えの観客を集めているのは、フェスタへの集客効果が大きく、学校としての宣伝効果が上がっていると思います。特にフェスタは一般の来客があるので、世間的に名前が響いた方のほうがアピールし易いのと、活躍している卒業生が毎年学園祭に来てくれるというのは、阿佐美としては強みだと思う。特に今回は竹谷さん、桂さん、佐藤さんなどが来てくれて、セミナー終了後に中庭のステージで挨拶をいただいた。そういうトピックやニュースがすごく効果があるし、同窓会が阿佐美に対する影響というのを認めてもらえるのではと思う」と述べた。

他に「講師の寺田さんが、聴いてくれる側に響くような話をしてくれた。自分のこれ迄の捉え方、これからへの考え方など、在り来りな言葉ではなく話してくれ、司会もよかったです、母校でやるメリットでリラックスして伝えてくれたのではと思う」「阿佐美を意識して話してくれたので、尚更よかったのだと思う」などの意見があった。

★松岡氏より「今後のブリッジ企画の題材について、ひとつのアイディアとして、境さんを招いて電子書籍を題材にしたセミナーを検討してほしい。会計上の問題として、収益をあげてよいかはわからないが、有料にする手もあるのではないだろうか」と提案があった。

「有料にする理由と、見合うコンテンツが必要」との意見に対して松岡氏は「同窓会の収入源として新会員の入会費以外を模索していることも踏まえ、有料でも見たいという情報が今のところ電子書籍だろうということで、有料に対するコンテンツが何かという選択理由が免償する。有料であれば講師が頼み易くなるというメリットもある。同窓会が収入を得る方法と、卒業生たちが欲しい情報を提供できるような場にした方がよいと思う。阿佐美の卒業生ということにこだわらず外部の方を招く際に同窓生料金では申し訳ない場合もあるが、こういう実験的なものも模索してみるのはいかがか」と答えた。

秋元会長は「ある程度集客の予測をしておかないと予算立てができない。予算立てをするには半年から1年くらい前に企画して、講師へも交渉が必要。広報については、現在は同窓会ニュースや学内ポスターくらいで、同窓生や在校生へのアナウンスは約1カ月ほどの期間だが、企画が事前に分かっていると有料であれば、半年とか1年くらい前からアナウンスしておくことも可能になってくるので、ツイッターやフェイスブックでラリーができて、他の方も興味が出てくるかもしれない」と述べた。

松岡氏は「境さんの場合一般でも30名は見込めると思う。フェイスブックで[電子書籍メディア論]というページをやっている、800名ほどのファンがおり、そこでも情報を流してもらえればと思う」と述べ、「何度かに分けて、簡単な事柄からやってほしいと思う」との意見に「キンドルのストアが日本に上陸したこともあり、今の状況を知っておくとよいと思う。デザイナーや卒業生にとってよい題材だと思う」と答えた。

渡部氏からは「昨日篠原先生とお話して、そろそろ外部の人も呼んでみたいと思っているとお話したら、人材ならいっぱいいるよと言ってくださった。そう考えると、人材をチョイスする人も外部の方々にはリレーションできると思う」との意見があった。

日野氏より「人材や有料化の件や紹介者も外部へ広げるということも含め、ブリッジで検討してもらえますか?」との問いに、西田氏は「先日の総会でも、セミナーやワークの紹介もしたので、ひとつひとつ取り組むことは当然だとは思っているが、ブリッジで外部へ幅を広げるとなると、たった3名だけでは難しくなってくる。学校と同列に見られるので、ミスのないように取組まないといけない」と答え、松岡氏は「企画推進する人が外部の方でもよいと思う。ブリッジの方たちは箱作りや受付の仕組みなどをしっかり担当していただければよいと思う」と話し、西田氏は「窓口はブリッジでも、全体で動かないと難しいと思う」と述べた。秋元会長は「議題として具体的なものが出てこないため空回りしている。内容を検討できないとおおよその予算となり、それで決まると外部からの講師は難しくなり、進めなくなる。早めに事務局へ『こういう企画を煮詰めたいので議題にしてほしい』と伝えてもらおうと具体的な話ができるので、それをお願いしておきます。ただ回数をこなすだけだと、新しい試みもできなくなってきますので、今後の展望や具体的な提案などを皆さんから出してもらい、それを検討したいと思います。よろしく」と結んだ。

■議題2 総会&パーティ2012の報告

各担当者より報告があった。

★受付(小山氏)…会員と教職員への案内郵送数:約3380通/戻り129通・欠席ハガキ418通。
出席:会員110名(教職員5名、ご招待4名)/当日欠席19名/当日参加8名。
クロークが受付の手前であった関係で、財布を預けてから受付するケースがあった。

2012年度 第4回 常任幹事会議事録

- ★会計(小山氏)…11月28日現在：収入総額434,985円(会費4,000円×106名=424,000円、寄付10,985円)／支出155,647円／合計 -1,121,490円(支出はもう少し増える見込)。総会&パーティの予算が160万円くらいなので約50万円の余り。赤字幅は少なくなっている。
- ★名簿(小山氏)…まとめ作業中のため後日報告予定。案内状の戻りが129通で、2003年度、2008年度と比べてだんだん減ってきていて、名簿の一本化の成果が出た。
- ★進行(秋元会長・永吉氏)…混乱もなく終了でき、皆さんの協力のおかげです。出席数に伴い、ケータリングの調整がぎりぎりまでかかり、150～200名の予定で、110名の出席だった。契約上食物の調整はできなかったが、会場費とケータリングで130万の予算、支払いは90万円弱で納まり、一人あたりの単価としては想定内だった。永吉氏は「担当したクロークでは、紛失などはなく無事に終了した」と報告した。
- ★司会(白石氏)…お客様にもっと喋らせなければいけないかなと思った。プレゼント品目の把握ができていなかったため、袋の準備に戸惑い、アルバイトの学生の方に苦勞をかけてしまったのは反省点。
- ★会場(渡部氏)…掲示物の数がぎりぎりまでわからなかったが、最終的にはよいボリュームになった。段取りが慣れてきたためか、事前の連絡が減ってきたのではと感じる。
 - ・秋元会長は「同窓生からの提供品の確定データが中々上がってこなかったため、次回も同じような企画を行う時には、事前に情報を上げてほしいと思う」と補足した。他に「同窓会アワードに関してもスクリーンだけでは伝わりきれなかったと思うので、掲示物があつてよかったと思う」などの意見があつた。
- ★映像・音響(松岡氏)…歓談の時間のずれなどで、曲の繋ぎなどの苦勞があつた。音響ブースにいたが、30メートル離れた舞台上のスクリーン映像をiphoneで操作できたので助かった。進行と絡むが、事務局からの同窓会活動報告の際、スライドに合わせた説明がもう少しほしかった。招待者の肩書などの説明の際、間違わぬようもう少ししっかりしてほしかった。インカムがあるとよかったと思う。
- ★記録(大村氏)…現在手元にある当日の記録写真とビデオを個人サーバにアップした。来場者撮影ではビデオを予定していたが、ピントが心配だったので写真をメインとした。ビデオを確認したところ、アップでも通り過ぎる人の名札までは認識できなかった。
 - ・「記録は会員もみられるか」との質問に、秋元会長から「映っている方の承認が必要になるのでフルオープンにするのはやめたいと思う」との答えがあつた。「次回以降のため、準備状況が参照できて掲示物などに利用しやすい写真や素材のまとめがあるとよい」との意見があつた。
- ★全体…開催場所について「集客を考えると場所は重要」「アクセスに難があつたという人もおり、会場の雰囲気は良かったが、場所的には馴染みの問題があつたのではと思う」「どこでやっても意見はいろいろ出るが、学校にゆかりのある場所が選べるのがベストだと思う。例えば新宿とかだとコストとの折り合いがつきにくいのではとも思う」などの意見が出た。
 - ・開催時期について「4年に1度ではあきすぎるという意見も耳にしたが、逆に4年ごとでは早いかなとも思ったり、離れすぎると卒業したての同窓生の受け皿がなくなる」などの意見が交わされた。
 - ・会費について「4000円は高いと思う人もいたようだが、例えば2000円だと持ち出しが増える可能性が増し、4年に一度だからいい印象を持ってもらいたいが、個人個人の印象なので難しい」などの意見が出た。
 - ・アサビアワードの企画については「やってよかった」「候補はもっと前から決められたらよかった」「世代の離れたお二人の握手のシーンが感動的だった」などの意見が出た。
 - ・その他に「テーマ決めなどが遅く、進行も別々で決めていたり、裏方は結構大変だった。少なくとも1年前から準備が必要だと思う」「準備は2年くらい前から始めた方がよい」「キャラクターのデータを作成してもらい助かった」「会場はわかり易かったが、3階に上がる所が少しわかりづらかった」「プレゼントタイムで景品の中身がわからず、陳列代から舞台への手渡しに手間取った」「阿佐美の先輩に話を聞けるなど、総会として実のある企画が必要」「参加したことのない方は、総会に対してイメージが湧かないという意見があつた」「2次会に重きを置いた企画も考えられるのでは」「同窓会ニュースに、出席頂ける先生やアサビアワードの受賞者名などの情報が載せられるとよかった」などの意見が出た。

■議題3 堀商店のショーウィンドウについて

- ・11月30日17:30より、作品の入替えが行われ、秋元会長、三好氏、大村氏、大野氏の4名が参加した。
- ・秋元会長は「小沢先生にお願いし、10～11月と12～1月の出品者の人選をしてもらった。次回も小沢さんというわけにはいかないの、1月末の入替えからは同窓会の方でもアプローチしていきたい。次回の入替えが1月31日(木)にあり、大野氏の作品展示が決まった。1月始めには堀商店へ連絡しておきたいので、もう一人の出品者を年内には決めておきたい」と述べた。
- ・「この企画についてのホームページがあると説明し易い」という意見に、総会&パーティで掲示した、告知の文言に、サイズの説明を加える方向で、大村氏が用意することとなった。
- ・担当は現時点では秋元会長が担い、今後あらためて決めてゆく事とした。
- ・経費に関して、年度途中に出た話で予算が無いので、これに関する経費は事務局の予備費から支出する事とした。「常任幹事は時間に関してはボランティアだが、交通費等の経費は払うべきではないか」「今回は払います、払いませんとなると、煩雑になる」「場所代が無料ということで、出品者への支出は無くてもよいのでは」などの意見交換があつた。今回、10月からの4名分の人選に関してご協力いただいた小沢先生へ、コーディネート料として2万円をお支払いするというので、秋元会長へ一任した。
- ・同窓会活動に関わる常任幹事の交通費は実費で支払うということで可決された。

■議題4 その他・意見交換

渡部氏より、卒業・終了制作展について報告があつた。

会期：2/27～3/3 会場：横浜バンクアート NYK(昨年と同様だが、今回は2階のみを使用)

事務局の大村氏より、次回日程2013年1月26日(土)14:00～17:00第5回常任幹事会を予定。

総会の慰労会を12/18(火)に予定との告知があり、会議と同様に慰労会などの企画も平日は避けた方がよいとの意見を受け、議会は閉会した。